

# 2部

フィールド フィールド  
現場から現場へ

---

# 学びたいこと、 叶えたい夢を胸に…

OB MESSAGE

通信教育学部社会福祉学科卒業生

小関真喜子

## はじめに

私は平成31年3月に社会福祉学科を卒業し、同年5月に地域包括センターに入職し、現在も同じ職場に勤務しています。

今回、「With」への寄稿のお話をいただき、私の体験が少しでも今頑張っている方のお役に立てれば、という気持ちで書かせていただきました。

## 実習を受けるための準備

「実習における体験談やこれから実習を行う学生へのアドバイス、そして現在に活かされていること」についての寄稿依頼を受け、まず初めに入学した時のことを思い出しました。私は、入学する前は、特別養護老人ホームで介護福祉士をしていました。しかし、社会福祉士の実習は24日であることを見据え、時間と休みの自由を聞いてもらえる工場の派遣社員へと仕事を変えました。派遣先からは、4分割であればということで実習を許可してもらえました。また、実習先は働いた経験のある特別養護老人ホームに的を絞り、幸い希望する施設にて実習をすることができました。

## 4分割の実習について

実習は1回の連続で続けて行った方が効果的と言われています。確かにそうかもしれませんが、4分割でも十分に学ぶことができたと思います。

実習自体は実習計画書の課題の中から、その日に指導していただいたことを当てはめ、考察し達成していく。あくまでも計画書の内容に沿った実習なので、苦勞に感じることはありませんでした。また、4分割では、次の実習まで1カ月近く時間が空くため、学んだこと、次週に学びたいことをまとめてから、実習を受けることができたように思います。デメリットとしては、1回で行う実習に比べ、利用者の方と馴染みの関係は築きにくいかもしれません。しかし、4分割では、長く実習先と関わることができるので、運営基準や組織体制の仕組みについて学びやすいように思えました。

## 実習での具体的な学習方法について

---

実習中に意識した事は、①「お忙しい中、実習を引き受けてもらっていること」、②「1日の中で学びたいことを1つは用意しておくこと」、③「体調管理に気を付けること」です。

①については、実習先は普通の業務をされている業務時間中に実習を引き受けてくださっている訳ですから、できるだけ日常のお仕事を見学し、自分自身で考察する学習を意識しました。

②については、実習は流動的な側面もあり、計画通りに進まないこともあります。そのため、1日一つだけでも、「今日はこれを学ぶぞ!」というものを持っておくことで、計画書の課題達成はしやすいと思いました。

③については、当たり前のことかもしれませんが、無理は禁物です。体調を崩せば、予定通りに進まず、いろいろな方に迷惑が掛かってしまいます。頑張りたい気持ちはもちろんありましたが、無理をしないように心掛けていました。

また、実習前には「事前課題」(『課題ノート』)がありますが、働きながらの学習には、とても有効だったと思います。日頃レポートや仕事、そ

して家事などで時間がないため、ひとりで実習に必要な勉強をまとめることは難しいと思います。「事前課題」（『課題ノート』）は実習に必要なことをまとめられるため、実習中に毎日提出する『実習記録』を整理する時に、とても役立ちました。

## 卒業後について

---

実習を終えたら、多くの在学学生の方は、国家試験の勉強を始められることと思います。皆さんは、受験勉強は孤独で辛いイメージでしょうか？私がかっていたイメージはそうでした。しかし、実際はそんなことはなかったと思います。なぜなら、受験資格を持って試験勉強している時点で、たくさんの方からの協力と理解のもとで試験に臨むことができていることを実感したからです。私の場合は、社会福祉士の国家試験を受けるには、大学で2年の在籍と、必要単位の修得、そして、実習が必要でした。自分の「社会福祉士になりたい」という思いを叶えるためには、自分の努力はもちろん必要ですが、なによりも、会社の方や実習先、大学の教員や職員の方、そして家族や友人の理解と協力があつたからだと思います。もちろん、試験勉強をされていて辛くなることもあります。しかし、あの頃を振り返ると、協力してくれた方々がいたからこそ、恩返しのためにも絶対に合格したいという強い気持ちを持ち続けられたように思います。

私は今現在、社会福祉士として地域包括支援センターに勤務しております。資格を取得したばかりの新人を、社会福祉士として採用いただき、働きながら、職場の方や地域の方に育てていただいていることに、本当に日々感謝しております。

まずは、地域の方に信頼していただけるよう日々努力し、地域の方が主体的に、そして安心して暮らせる、そんな地域づくりをしていきたいと思っています。

在学生の皆さん、実習や国家試験に向け、たくさんの不安があると思います。しかし、学びたいという想い、叶えたい夢を信じて頑張ってください。

最後に、このような機会をくださいましたこと、心より感謝いたします。お読みいただきありがとうございました。

## スクーリング・アンケートより(1)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●コミュニケーション英語 シュミット・ケネス

- ・英語を3日間学び、前日よりもわかっていることが増えていくことに自分でも驚きました。家に帰ってしっかり復習したいと思います。
- ・多読の効果を教えていただき、実践したいです。日本とアメリカのコミュニケーションの違いにとっても関心を持ちました。

### ●発達障害者の理解と支援 黄 淵熙

- ・「障がいの理解」までは、さまざまところで受講する機会があるが「では、どうすれば？」という疑問が残っていた。その「どうすれば？」に答えてくれる授業だった。たいへん有意義だった。
- ・障がいによって特性がこんなにも違うのかと考えさせられた。適切な支援をしていくにはもっと学ぶ必要があると感じた。
- ・発達障害の困りごとが起きる場面について事細かに例示していただいて、納得や新しい発見の連続でした。
- ・発達障害のメカニズムや効果的な支援について、具体的に知ることができた。これまでさまざまな研修会で学んできたが、今回の授業がこれまでの中で一番わかりやすく、勉強になった。

### ●乳児保育（幼保特例講座科目） 富澤 弥生・一ノ瀬 まきの

- ・視覚的な内容で授業が進み、わかりやすかった。
- ・DVDなどの映像を使っていろいろな現場をみることができ、また感想を発表したことで勉強になった。

### ●地域福祉論 都築 光一

- ・ソーシャルコミュニケーションのとり方や、ワークショップのやり方は、とても大切なので、詳しく教えていただけたことはとても勉強になりました。
- ・コミュニティーワークなど人的支援についても、大変勉強になりました。
- ・地域福祉というと、少し固いイメージをもっていました。とても大事な学習であり、これから地域のためにできることは何かと考えさせられました。
- ・どんな社会資源があり、それをどう使うのか、そのための話し合いはどのようにするのか、具体的に教えていただいた。地域福祉にますます興味がわいた、実践していきたい。